

国語

小学4年

この本の使い方と特色

- **全体の構成** このテキストは、四年生の一学期までに学んだことさらに、選ばれた素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- **単元の構成** 一つの単元は、確認問題 → 練成問題の順に構成してあります。また、読解問題は、詩をのぞいて、一素材ごとに見開き完結になっています。
- ◆ **確認問題・練成問題**……基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題も配してあります。

目次

1 物語(1) …………… 2	5 説明文(1) …………… 18
2 物語(2) …………… 6	6 説明文(2) …………… 22
3 随筆 …………… 10	7 漢字・語句・ことばのきまり(1) …………… 26
4 詩 …………… 14	8 漢字・語句・ことばのきまり(2) …………… 30

1
物語
(1)

1000
/

確認問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈最上二平「ぼくの大イワナ」より〉

□(1) — 線①「のどがかわいて、口の中がからからだった」は、

直道のどんな様子を表していますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

ア 長い時間ずっとつりをしていたために、すっかりつかれていている様子。

イ 知らないおじさんから話しかけられたのがこわく、きんちようしている様子。

ウ これから魚がたくさんつれそうだと思って、気持ちがたかぶっている様子。

エ 一人で心細いときにおじさんが話しかけてきたので、安心していている様子。

□(2) — 線②「うれしいなんでもんじゃない」を言いかえるのにふさわしいことを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア うれしかったかどうか、よくわからない。

イ それほどうれしかったとはいえない。

ウ ことばで表せないほどのうれしさだった。

エ 少しはうれしかったかもしれない。

□(3) — 線③「そのときのおじさんの気持ち」としてふさわしくないものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

ア よろこぶ気持ち。 イ こうふんする気持ち。

ウ びっくりする気持ち。 エ こわがる気持ち。

□(4) — 線④「ずっとやってりや、いつか、めぐりあうこともあるかもしんねえなあ」とありますが、何にめぐりあえるかもしれないのですか。書いて答えなさい。

□(5) 本文中のおじさんはどんな人ですか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

ア はずかしがりで、はじめて会った人とはうまく話せない、気の弱い人。

イ 気さくで親しみやすい人がらで、子どもに対してもやさしい人。

ウ がんこで気むずかしく、気に入らないことがあると、すぐふきげんになる人。

エ 自分のじまん話ばかりして、人の話をあまり聞かない自分勝手な人。

練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈神沢利子「ヌーチェの水おけ」より〉

□(1) — 線①「そんなこと」とは、どうすることですか。本文中から八字で書きぬいて答えなさい。

□(2) — 線②「おらにみせてごらんよ」と言ったときのヌーチェの気持ちとしてふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

- ア けがをして苦しんでいるクマを助けよう。
- イ クマが本当にけがしているか、たしかめよう。
- ウ 魚とりがとくいなクマに、マスをとらせよう。
- エ クマをゆだんさせて、つかまえよう。

□(3) — 線③「やれ、ありがとうよ」とありますが、クマは、ヌーチェがどうしてくれたことへのおれいを言ったのですか。次の二点にまとめた場合、に入るふさわしいことばを、

「ヌーチェがくれたことへのお礼」という形で書いて答えな

さい。

○ヌーチェが、けがによくきく草のしるをぬってくれたことへのお礼。

ヌーチェが

くれたことへのお礼

□(4) ※ に入るふさわしいことばを次から一つえらび、記号で答えなさい。

- ア ひっそり イ すっきり
- ウ ゆっくり エ どっさり

□(5) ①・②に入ることばの組み合わせとしてふさわしいものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

- ア (①えらそうに) ②こわそうに)
- イ (①うれしそうに) ②いやそうに)
- ウ (①楽しそうに) ②つまらなそうに)
- エ (①とくいそうに) ②はずかしそうに)

2

物語
(2)第1回
第1問

確認問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈千刈あがた「野菊とバイエル」より〉

□(1) — 線①「わかるのはただ、みんなが見ていることと、すぐ

横に橋本先生がいることだけだった」が表しているミツエの気持ちとしてもっともふさわしいものを次からえらび、記号で答えなさい。

ア みんなの目を意識して、きんちようしている気持ち。

イ 集中力を高めて、鉄棒のことだけを考えている気持ち。

ウ みんなが注目しているので、得意になっっている気持ち。

エ みんなで見守ってくれているので、安心している気持ち。

□(2) — 線②「もう少し鉄棒をやっていたいような気がした」のはなぜですか。次からもっともふさわしいものをえらび、記号

で答えなさい。

ア クラスのみんなの目の前ではじをかかされたことがくやしかったから。

イ 自分に期待をしている先生の気持ちにこたえてあげたかったから。

ウ なんとなく逆上がりのコツがつかめてきたように感じられたから。

エ 自分が鉄棒をするすがたをもっとみんなに見てもらいたかったから。

□(3) — 線③「自分が笑っているのだ。自分は今、笑っている、

と強く感じながら」は、ミツエのどんな様子を表していますか。次からもっともふさわしいものをえらび、記号で答えなさい。

ア 自分が逆上がりで成功するすがたを頭の中で想像して、思わず笑いをうかべている様子。

イ 自分は笑っていると思うことによって、くじけそうな自分の心をふるい立たせている様子。

ウ 何度やっても逆上がりができない自分のこっけいなすがたを、あざけり笑っている様子。

エ 初めてできた逆上がりの体験におどろきながら、自然に笑いがこみあげている様子。

□(4) — 線④「そのこと」とはどんなことですか。「こと」という形で書いて答えなさい。

□
こと。

□(5) — 線⑤「できたー」を、ミツエはどのような声の調子で言ったと考えられますか。次からもっともふさわしいものをえらび、記号で答えなさい。

ア 問いかけるような調子。

イ 心細そうな調子。

ウ はずむような調子。

エ うらやましそうな調子。

練習問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈永倉万治「武蔵野S町物語」より〉

(注) 安堵^{II} 安心すること。

ミリバール^{II} 気圧を表す単位で、現在^{げんざい}はヘクトパスカルが用いられている。

□(1) 本文中に登場する、健一の家族は何人ですか(健一も人数に数えます)。数字で答えなさい。
 人

□(2) — 線部「父親はラジオのスイッチを入れた」とありますが、父親は何のためにラジオのスイッチを入れたのですか。その理由としてもっともふさわしいものを次からえらび、記号で答えなさい。

- ア 本当に停電したのかをたしかめるため。
 イ 台風についての情報^{じょうほう}を得るため。
 ウ 家族みんなの気持ちを明るくさせるため。
 エ たいくつな気持ちをまぎらわすため。
-

□(3) ①・②に入るもっともふさわしいことばを、それぞれ次からえらび、記号で答えなさい。

- ア 目 イ 耳 ウ 鼻
 エ 口 オ 首 カ 手

□(4) * に入るもっともふさわしいことばを次からえらび、記号で答えなさい。

- ア さわぐ イ おどる
 ウ いたむ エ はりさける

□(5) ねむりにつくまでの健一の気持ちの動きについての説明^{せつめい}としてもっともふさわしいものを次からえらび、記号で答えなさい。
 ア 停電の直後には不安になった。しかし、母親の落ち着いた声や、妹たちのにぎやかで明るい声を聞いたことで安心し、ねむってしまった。

イ 停電の直後にはわくわくしたが、風雨が強まると不安を感じた。しかし、じいさんの言葉を聞いたことで安心し、ねむってしまった。

ウ 停電の直後には不安になった。さらに、風雨がはげしくなり、不安は高まっていった。しかし、父親の何事にも動じない態度^{たいど}を見たことで安心し、ねむってしまった。

エ 停電の直後にはわくわくしたが、風雨が激^{はげ}しくなるにつれて不安になってきた。しかし、家族と寄りそっていることで安心し、ねむってしまった。

①

②